

## iPod/PCデジタル伝送ユニットとの拡張性も備えた 本格オールインワンコンポ「FRシリーズ」新モデル

X-N7EX/X-N9EX

FRシリーズは、オーディオの動力源となるアンプと、CDプレーヤーやMDデッキ、ラジオチューナーといった再生機能を一体化した本体部に、単品スピーカーを組み合わせたオールインワンコンポの先駆けとして1998年に誕生しました。

単品で構成される大型コンポーネントの設計手法を投入し、本格的な音質仕様、操作性を重視したシンプルなデザイン、外部機器を拡張できる豊かな発展性にもこだわり、こうしたロングライフ設計が世代を越えた高い評価に結びついています。

CD、MD、FM/AMといったベーシックなメディアはもちろん、USBメモリーにも対応し、ポータブルプレーヤーとの接続や、アナログ入力端子を介して、ビデオデッキやカセットデッキなどと接続することも可能です。

さらにデジタル入力端子も備えていますので、iPod/PCのデジタル伝送に対応するオプション「ND-S1」にも対応し、上級オーディオ直系の本格サウンドで、さまざまな音楽ソースを楽しんでいただけます。リモコンには「ND-S1」との組み合わせ時に便利な操作ボタンを凝縮。日本語表記で操作性もさらに向上しています。スピーカーも、深みのあるカラーリングを施して木目の質感を高め、インテリアや家具との調和も考慮したシンプルなデザインに仕上げました。

IMAGINATIVE SIGHT & SOUND **ONKYO**<sup>®</sup>

プレスお問合せ先 オンキヨー株式会社 国内マーケティング課 山本誓一 TEL.03-3548-1590

写真画像はこちらから [www.jp.onkyo.com/news/newproducts/](http://www.jp.onkyo.com/news/newproducts/) の「オーディオ」より

当製品をクリックください

掲載時のお客様お問合せ先 オンキヨーコールセンター TEL.050-3161-9555



## X-N7EX(D)

CD/MDチューナーアンプシステム

オープン価格 6月30日発売予定

- 単独で使用しても高い実力を発揮するセンター部と上質なスピーカーシステムを組み合わせた、FRスタンダードモデル
- 本格的な単品アンプと同じ設計手法を導入。一般的なコンパクトオーディオとは一線を画すディスクリット構成アンプ
- 小音量でも豊かな音楽再生、オプティマムゲイン・ボリューム回路搭載
- 共振に強いシャーシ構造や剛性の高いアルミフロントパネルを採用。微小な音楽情報の表現力を向上
- 躍動感ある低音再生「13cm A-OMFモノコックウーファー」&超高域再生「3cmリングツイーター」
- 高品位な低音増強を可能にするパスレフ技術「AERO ACOUSTIC DRIVE」
- USB端子を搭載。USBメモリーにストックされた音楽ライブラリの高品位再生やUSBメモリーへの録音を実現
- 別売のデジタルメディアトランスポート(ND-S1)を組み合わせることで、iPod音声のデジタル伝送再生に対応

|         |   |
|---------|---|
| 定格出力    | 19W+19W(4Ω、1kHz、全高調波歪率0.4%以下)                 |
| 実用最大出力  | 26W+26W(4Ω、JEITA)                             |
| スピーカー   | ウーファー:13cm A-OMFモノコックコーン ツィーター:3cmリング         |
| USB端子   | 1(再生:MP3/WMA、録音:MP3)                          |
| 音声入出力端子 | 入力:デジタル1、アナログ2、ステレオミニ1<br>出力:アナログ1、サブウーファープリ1 |
| 最大外形寸法  | 本体部:W215×H142×D349mm スピーカー一部:W164×H282×D268mm |
| 質量      | 本体部:5.1kg スピーカー一部:3.8kg(1台)                   |
| 付属品     | リモコン、スピーカーケーブル×2、コルクスペーサー×8                   |



## X-N9EX(D)

CD/MDチューナーアンプシステム

オープン価格 7月10日発売予定

- X-N7EXをベースに、特別仕様を施してクオリティをさらに高めた、FRシリーズ上位モデル
- 本格的な単品アンプと同じ設計手法を導入。一般的なコンパクトオーディオとは一線を画すディスクリート構成アンプ
- 小音量でも豊かな音楽再生、オプティマムゲイン・ボリューム回路搭載
- 共振に強いシャーシ構造、フロントパネルとボリュームつまみにアルミニウム素材を採用し、制振性を強化
- 躍動感ある低音再生「13cm A-OMFモノコックウーファー」&超高域再生「3cmリングツイーター」
- バスレフダクトをキャビネットから分離。よりクリアな低音再生を実現する、アドバンスド仕様のAERO ACOUSTIC DRIVE
- USB端子を搭載。USBメモリーにストックされた音楽ライブラリの高品位再生やUSBメモリーへの録音を実現
- 別売のデジタルメディアトランスポート(ND-S1)を組み合わせる事でiPodの音声のデジタル伝送再生に対応

|         |   |
|---------|---|
| 定格出力    | 19W+19W(4Ω、1kHz、全高調波歪率0.4%以下)                       |
| 実用最大出力  | 26W+26W(4Ω、JEITA)                                   |
| スピーカー   | ウーファー:13cm A-OMFモノコックコーン ツィーター:3cmリング               |
| USB端子   | 1(再生:MP3/WMA、録音:MP3)                                |
| 音声入出力端子 | 入力:デジタル1、アナログ2、ステレオミニ1<br>出力:デジタル1、アナログ1、サブウーファープリ1 |
| 最大外形寸法  | 本体部:W215×H142×D359mm スピーカー部:W167×H299×D260mm        |
| 質量      | 本体部:5.2kg スピーカー部:4.1kg(1台)                          |
| 付属品     | リモコン、スピーカーケーブル×2、コルクスペーサー×8                         |

## 主なテクノロジー

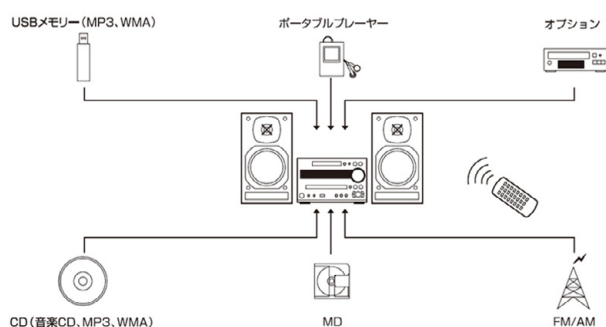
### ロングライフ設計の本格オールインワンシステム

コンパクトなボディに本格ハイファイ・オーディオゆずりのクオリティを凝縮したFRシリーズ。音質はもちろんのこと、多彩な操作を集中してコントロールできるセンター部右下の「MULTI JOG」ダイヤルに代表される高い操作性なども、誕生以来、数多くのお客様から高い評価をいただいております。

本体だけでCD、MD、FM/AMといったベーシックなメディアをお楽しみいただけるだけでなく、USBメモリー対応端子、ポータブルプレーヤー対応ステレオミニ端子、アナログRCAオーディオ端子、デジタル端子などを搭載していますので、さまざまな音楽メディアに柔軟に対応できます。

特に、新しい音楽メディアとして普及するiPodとの接続では、オプションを組み合わせてシステムアップすることで、より高品位な音楽環境を構築できます。デジタルメディアトランスポート(ND-S1)を組み合わせれば、iPodの音楽データを原理的には劣化のないデジタルデータのまま伝送することが可能。FRシリーズ付属のリモコンによるiPodの主要操作や、iPodの充電機能にも対応しています。

慣れ親しんだ音楽メディアの再生や外部機器を接続できる発展性、さらには最新の音楽メディアの再生も高品位に拡張できる、永く安心してお使いいただけるコンパクトオーディオです。



## 主なテクノロジー

### 上級オーディオ直系のアンプ回路

センター部とスピーカーをセットにしたオーディオシステムでは、パワーICと呼ばれる既製のICチップを使用してアンプ部の設計を簡易化するケースが一般的です。しかし、音楽再生のレベルアップを図るためには、アンプ回路の音質設計が重要であり、FRシリーズではアンプ単体で販売されている上級のオーディオコンポと同じ「ディスクリート構成」と呼ばれる設計手法を採用しています。

ディスクリート構成は、トランジスタやコンデンサーなど電子部品ひとつひとつを吟味して基板にレイアウトしていきます。高度な設計能力が求められますが、ICチップと異なり音質を追求した自由な設計ができますので、グレードの高い音楽再生を実現できます。豊かな音楽に長く触れていただくために、手作り感覚のアンプ設計にこだわりました。

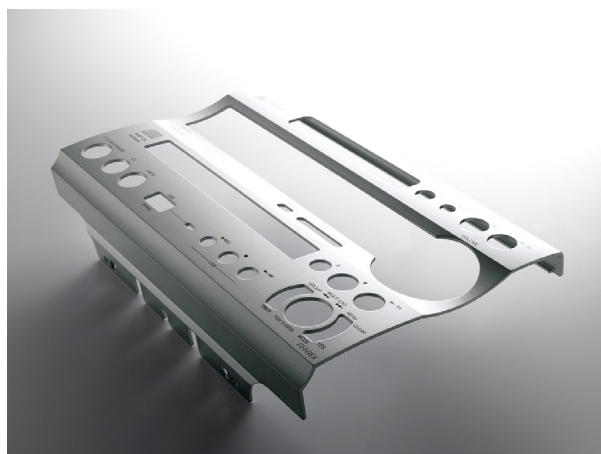
さらにアルミ素材のフロントパネルや高剛性のシャーシ構造を採用することによって、音質に悪影響を及ぼす筐体振動を抑制し、また筐体内の基板間でのノイズ干渉を抑えるための内部レイアウトなど、ハイレベルな音質設計を細部にまで投入しています。

### 小音量時でも豊かに再生する オプティマムゲイン・ボリューム

音質の要となるボリューム回路には、内部の可変抵抗器だけで音量調整を図る一般的な回路とは異なり、音量調整を周辺回路にも担わせることで小音量時でもノイズを抑える「オプティマム・ゲインボリューム」を採用。

音量の大小に左右されることなく音質を保てるため、小音量しか出せない環境でも音楽を豊かな表現力で再生します。

音楽を心地よく再生していただけるようにこだわったオンキヨーの独自技術を、FRシリーズどちらのモデルにも採用しています。



## 主なテクノロジー

### 量感豊かな中低域を再生する A-OMFモノコックウーファー

オンキヨーはスピーカーの要と言われるスピーカーユニットを振動板の素材開発から行います。振動板は空気を振動させて最終的に音を奏でる部分で、楽器で言うと弦に当たります。そのため、歌声や伴奏で流れる楽器ひとつひとつの音の成分を忠実に再生していくには、この振動板の特性が深く関わります。

FRシリーズのウーファーユニットには、上級機種で実績を上げたA-OMFモノコック振動板を採用しました。A-OMFモノコック振動板は、スムーズに動かせる軽量化、しっかりと空気を動かせる剛性、音色に余分な色づけをしない性質という振動板の理想像を追求して選りすぐったPEN繊維/アラミド繊維/織布の3層構造で生成されています。従来採用されていた中央部のセンターキャップをなくして椀形状に一体成型することで、軽量化と剛性の両立を高いレベルで実現し、音の濁りに結びつく分割振動を抑えることに成功しています。

さらに振動板を駆動する磁気回路には、コンパクトオーディオではあまり例を見ない8cm径の大型マグネットを採用しています。クラスを超える強力な磁気回路で理想的な振動板を力強く駆動することにより、低音楽器の余韻は引き立ち、音の輪郭はくっきりと映し出されて、音場の広がり豊かに感じ取っていただけることでしょう。



X-N7EX ウーファーユニット部

### 最先端リング型ツイーターユニット

ツイーターは中高域の再生を担当し、特にヴォーカル帯域の表現力を左右します。アーティストの歌声に引き込まれ、心に響くかどうかは、このツイーターユニットの性能が大きく関係します。FRシリーズに採用されるリング型ツイーターは、上位モデルで開発されたオンキヨー最先端のスピーカー技術です。振動板の内周と外周の中間点を駆動させるバランスドライブ構造によって、振幅の正確性を向上し、分割振動を抑えて20kHz近くまでのピストンモーション領域を実現しています。振動板の分割振動に頼らないため、音の芯が太く鮮明になり、目の前で歌っているかのような生々しい音楽再生に結びつきます。



## 主なテクノロジー

### 「USBダイレクト・プレイ」対応

PCで記録した音楽ファイル(MP3、WMA)をUSBメモリーにストックして本体に差し込めば、本体やリモコンでのワンタッチ操作で再生や選曲ができます。

またCDやMD、FM/AMラジオ、外部機器からUSBメモリーへの録音ができますので、録音した多くの音源をメディアの入れ替えなしに音楽サーバーのようにして楽しんでいただくことや、USBメモリー経由でPCのライブラリーに追加していくこともできます。ご自分の音楽スタイルに合わせて、多彩に活用していただけます。



### 特別仕様を採用した上位モデル「X-N9EX」

X-N9EXは、X-N7EXをベースにさまざまな特別仕様を取り入れて、本格的なオーディオ仕様をさらに追求したFRシリーズの上位モデルです。スピーカーキャビネットはX-N7EXに比べひとまわり大きな容量を確保して、リアルウッド(天然木)による突き板仕上げを採用しています。突き板仕上げは天然木をごく薄くカットし、均質で安定したボード材に接着する、技術的にも高度な加工方法です。幾度も塗装を重ねたあと、木目の感触を失わないようひとつひとつ手作業の工程で仕上げられ、天然木ならではのやさらかしい響きが特徴的です。

さらにバスレフダクトはダクト部をキャビネットと別ピースにすることで、お互いの振動の影響を抑えて音質劣化のノイズ放射を一層低減する「アドバンスド」仕様を採用しています。

またフロントパネルだけでなく、ボリュームつまみにも高剛性のアルミニウム素材を選択し、振動に起因する音質劣化をさらに抑えています。スピーカーを接続する端子類にもこだわり、市販の太いスピーカーケーブルをしっかりとホールドできるネジ式ターミナルを装備しています。

他にも光デジタル出力端子を装備していますので、他の光入力端子を持った機器との接続など拡張性の面でも、N7EXを上回る仕様となっています。



## 主なテクノロジー

### オプションでiPodのデジタル伝送にも対応

オンキヨーのオプション機器は、スタンダードなメディアから最新のメディアまで、豊富なラインナップを開発し続けています。例えば別売りのデジタルメディアトランスポート (ND-S1) を組み合わせれば、iPodの音声データをこれまで一般的だったアナログ伝送から、音質劣化の少ないデジタル方式で伝送できるようになります。楽器やヴォーカルの輪郭がくっきりと映し出されて音場が増し、iPodの音楽ライブラリをこれまでより躍動感に満ちたサウンドで再生していただけることでしょう。

またRIケーブルの接続により、FRシリーズのリモコンでiPodの音楽ライブラリの再生、曲送りなどの主要操作や、インプットセレクターの自動切換えなどシステム連動ができるようになります。リモコンにはiPodの操作部分も日本語表記で記載していますので、どなたでも安心してお使いいただけます。

もちろん、iPodの充電にも対応しています。さらにはUSBケーブルを介してパソコンと接続すれば、iPodを接続した状態で、iTunesとの同期ができるようになります。例えばノートパソコンをオーディオシステムのある場所へ持ち歩き、iPodの音楽ライブラリを入れ替えることができます。

他にもND-S1との組み合わせでは、パソコンのiTunesの音楽をUSBケーブル経由でFRのスピーカーから再生することができますので、パソコン音楽のオーディオ再生を手軽に体験していただけるようになります。



商標について iPod およびiTunesは、米国および他の国々で登録されたApple Inc. の商標です。